

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 稲城市立稲城第四中学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 206-0811

東京都稲城市押立1768

E-mail inagi4j@educet.plala.or.jp

Website http://academic1.plala.or.jp/ine4j/

幼児児童生徒数 男子 139名 女子 117名 合計 256名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳 ~ 15歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、○持続可能な社会の担い手の育成、地域や社会に貢献できる生徒を育成を目標とし、多面的・総合的に考える力、他者と協力する態度、未来を予測して計画を立てる力を身に付けさせていく。

具体的には、①ユニセフの活動についての理解に関する活動、②募金活動、③環境問題に係わる学習、④国際理解に係わる学習を行った。

### ①ユニセフの活動についての理解に関する活動

ユニセフハウスを訪問し、ユニセフの活動を学習した。

### ②募金活動

ユニセフ校内募金・ユニセフ校外募金の活動を行なった。

### ③環境問題に係わる学習

全校生徒と保護者・地域・小学校が一体となって、資源回収及び地域清掃の取組を行なった。

### ④国際理解に係わる学習

3年生が京都・奈良への修学旅行で世界文化遺産について理解を深めた。体育において武道（柔道）を全員が学ぶ。その際、地域人材を活用した指導を行い、柔道を通じて日本の伝統的礼儀作法を身に付けた。

1年生・2年生において箏の体験を実施した。地域人材を活用した指導を行い、日本の伝統音楽について理解を深めた。



① ユニセフハウスの訪問



② 校外募金活動



③ 地域との資源回収、清掃活動



④ 箏の体験

## (2) 活動の詳細

### ①ユニセフ活動

<1> 5月、生徒会役員（3年生）が、新入生に対して、ユニセフの概略及び本校のユニセフ活動についての説明をした。

<2> 7月 1年生ユニセフハウス見学を見学した。

<3> 7月及び9月、1年生がユニセフについて学んだことをまとめ、発表会を行なった。

<4> 11月、12月生徒会が中心となり、ユニセフ校内募金・ユニセフ校外募金活動の取組を行なった。

<5> 12月にユニセフのパネル展示を校内に展示した。（1週間）

### ②募金活動

<1> ユニセフ・クリーン大作戦

○12月16日（土）実施

○全校生徒と保護者・地域・小学校が一体となって、資源回収及び地域清掃の取組を行なった。

<2> 地域の公園整備活動・多摩川の清掃活動

○毎月、第一日曜日に実施した。

○ボランティアの生徒が地域住民と共に公園や花壇の草取りや整備を行なった。

○ボランティアの生徒が地域住民と共に多摩川に落ちているゴミを拾った。

### ④国際理解に関する学習・体験

<1> 3年生：京都・奈良への修学旅行

○世界文化遺産について理解を深めた。

<2> 全学年：体育における武道（柔道）

○地域人材を活用した指導を行い、柔道を通じて日本の伝統的礼儀作法を身に付けた。

<3> 1年生・2年生：音楽における箏の体験

○地域人材を活用した指導を行い、日本の伝統音楽について理解を深めた。

### ⑤人権に関する学習

○社会、道徳の時間を中心に、世界平和と人権について理解させ、考えさせた。

### ⑥環境・エネルギー・気候変動・生物多様性

○理科、社会、技術、家庭科の各教科を中心として理解を深めた。

### ⑦防災教育

○子ども防災自助パックを活用した防災意識の向上を図った。（5月と3月）

○3年生に対する救急救命講習を実施した。（3月）

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 放課後の時間 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ① ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESD全体計画を作成し、ESDカレンダーに従って実施している。  
おもに、総合的な学習の時間を使って、ユニセフの活動を中心に行なっている。

- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

生徒会を中心として、生徒主体で募金活動や清掃活、資源回収等を地域と一体になって実施している。

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

生徒会を中心に取り組んでいるため、その担当職員の引き継ぎと次年度以降の取組みの精選等を検討している。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

地域に対し、環境問題をともに考えていく、良い契機となった。

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の自治会と連携して資源回収、清掃等を行なっている。

- ⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

ユニセフの活動についての理解は、ユニセフハウスの訪問により興味・関心が高まった。  
募金活動や資源回収など地域と共に行なうことにより、生徒の郷土愛の醸成にとっても良い効果が得られた。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ①ユニセフの活動についての理解に関する活動
- ②募金活動
- ③環境問題に係わる体験
- ④国際理解に係わる学習